

山麓探偵団通信

5月号

今春は、天候不順で農作物の作付や観光スケジュールには、かなりの直前変更が出ていますが、探偵団活動は、三月も四月も、晴天にめぐまれ、だれのおかげかと、それぞれがそれぞれの主張をして、平穏なスタートをきりました。

さて、四月二十二日(月)は、
蓑田尚美団長のもと、なるさわ道の駅に集合して、精進登山道口から青木ヶ原樹海に入りました。

富士風穴、大室山の麓のブナやミズナラの板根(ばんこん)をたずね、溶岩樹型や軽石つきのヌタバ(猪や鹿などが、体に泥をこすりつける場)を脇目に、本栖風穴を通って、帰路につきました。

歩き始めて早々に、ツルアリドオシ、マイヅルソウに出会い、その後、道に落ちている(ぼっくり)観察。典型的な松ぼっくりしか知らない自分たちは、大小、長短、実にさまざまな種類に、正直おどろきました。

富士風穴に通じる道にある溶岩流跡を、ハワイの火山語で(パホイホイ)とおそわり、おどろおどろしい火山活動と、そのハワイらしい音の響きとのギャップが、なんとユーモラスに感じられ、参

加者の思わぬ人気を得ました。道中には、馬酔木(アセビ)の白い花、ウリハダカエデの新芽などが春の訪れを感じさせ、三種類のスマイレ(オカスマイレ、タチツボコブシ、富士桜などをめでました。



特に、山と溪谷社の「日本のスマイレ」によると、交雑種を除いて、一一六種あるというスマイレは、近くに咲いていても別種の場合が

多々あり、検索表を各自手にして細かく観察しました

また、ツクバネソウは葉が四枚、クルマツクバネソウは、葉が六枚から八枚と、そのちがいを学びました。

山麓探偵団として、樹海に足をふみ入れたのは数年ぶりですが、針葉樹の森は静かで、空気が澄んでいて、ゴミや人工物がなく、その後訪れた広葉樹の森もたいへん心地よく、おだやかな春の一日を過ごすことができました。

▼参加者の一言感想

K・樹海独特の空気にふれ、探偵団の目になってスマイレなどを見て楽しくかった。

M・迷子にならず、ほっと安心しました。

K・溶岩流のハワイ語、パホイホイをおぼえて、ちよつと得意な気分。

J・四ヶ月ぶりに歩いて、よかったです。

H・空気がさわやかで、巨木の力強さにもふれ、学ぶことも多く、いやされました。

M・初期の探偵団を思い出し、また探偵団でおそわったことも、復習できてよかったです。

I・ふたつの洞穴を、ぜひ探検してみたい。

N・足元の落ち葉や土がふかふかで、みどりに囲まれ、とても豊かな気持ちになりました。

▼五月の探偵団活動予定。

❀ 幻の滝に逢えたらいいな ❀

担当団長は、森の喫茶室あみんのマスター(樋口重喜)です。本来、川のない富士山で、この時期にしか見られない季節限定の滝にご案内する予定ですが、天候や気温の関係で、変更になるかもしれませんので、ご了承ください。

・開催日||五月二十五日(土)

・集合||朝十時 すばしり道の駅

・参加費||1800円

・持ち物||昼食・雨具・マイカッ

プ・防寒着、手袋(軍手

可)・任意で双眼鏡など

○ 申し込み・問い合わせは三日前までに、電話かメールでお願いします。

◆尚、次回は六月二十九日(土)

三十日(日)、戸高雅史団長の野

営バージョンです。(詳細は次号)

発行||山麓探偵団 事務局

山梨県山中湖村平野一六九八

電話 || 五五五・六五・七〇二三